

実施報告書

浜田市立松原小学校 心に残る文化財子ども塾

1. 活動の概要

6月8日（水）、浜田市立松原小学校6年生36人を対象に「心に残る文化財子ども塾」を開催しました。学校のある浜田市の奈良時代の様子として石見国府と石見国分寺・国分尼寺について学習し、松原小学校付近は石見国の中心に位置していたことを学びました。また、奈良の大仏が造られるまでの具体的な様子を学ぶことで、これから取りかかる「奈良の大仏の実物大パネル」の完成に思いをはせました。

講座の後は、浜田市内の遺跡から出土した土器、石器などについて実物を見ながら説明を受けました。弥生土器では米を炊いたときに残った「お焦げ」を見てみたり、当時の米の炊き方を聞いたりしました。また、食事のときに使われた須恵器の皿をよく見てみると、同じ須恵器でも時期によって高台の有無があることを確認し、古墳時代は手で持っていたが、奈良時代になると下に置いて食事を採っていたことなどを学習しました。

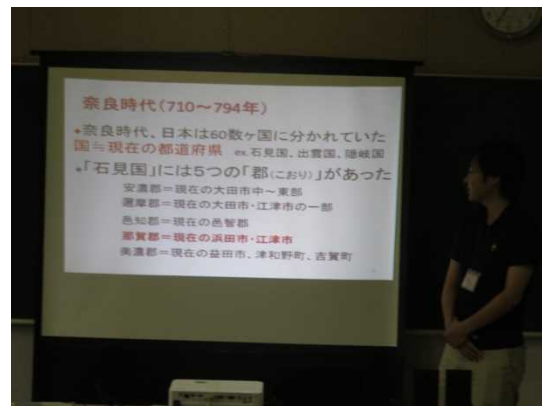
2時間目は体育館に移動して、いよいよ大仏パネルの作成に取り掛かりました。大仏パネルは1辺1m四方のシートが188枚もあって大変でしたが、みんなで協力し合って立派な大仏さまが完成しました。このような、普段の学校の授業ではなかなかできない体験活動を通して、改めて郷土の歴史や文化、文化財に興味を持ってもらえると嬉しいです。

2. 活動の様子

①奈良時代の浜田について。



「みんな集中して聞いています」



「奈良時代の松原小学校の住所は??」

②大仏パネル作成



「188枚のパネルも皆の力を合わせれば…」



「あっという間に完成！！」

3. 子ども塾を終えて

①子どもたちから…

- ・奈良の大仏作りのたいへんさが心に残りました。
- ・大仏の顔のおでこにある丸は毛をまるくしたことが一番心に残りました。奈良時代の松原小の住所をしくてよかったです。
- ・奈良の大仏はとても大きいですが、いろいろやかれたり、たおれたりして、今にいたるという事が心に残った。
- ・大仏が16mと聞いただけでもびっくりしたけれど、実さいにつくってみると、とても大きかったことが心にのこりました。
- ・国分寺と国分尼寺の両方で誕生仏が見つまっているのが石見国だけと聞いたことが心に残った。

②担任の先生から…

- ・歴史を身近に感じる事ができた点が良かった（出土品が手にとれる、生活・住所の様子がわかる、大仏作りができる、DVDの活用）。
- ・実物にふれたこと、パネルで実物大を体験したこと、地元のことがわかったことが良かった。
- ・またお願いしたい！！と強く思いました。ありがとうございました。

浜田市立松原小学校6年生のみなさん、先生方、ありがとうございました！！